

6月定例議会 一般質問を傍聴して・・・

何年ぶりだろうか。十数年前にはよく議会傍聴に出かけたものですが、最近ほとんどご無沙汰でした。

今の議員たちは無投票で当選したこともあり、顔も声もよく知りません。日頃どんな活動をしているのかも是非知りたいところです。

今回は池田町の災害時の避難場所設定に疑問を抱いたところからの傍聴でした。

池田町は特に水害、土砂災害とダブルでの避難が必要ですが、マップには小中学校、農村広場、地区公民館、自宅の二階など、そして三階以上の建物・・・つてどの位ありますか？

水害、地震、地滑り、と誰



もが解りやすく安全に避難できる場所を示して欲しい。薄井議員は日頃から問題点を調査したのだろう・・・鋭く的確な質問でした。

服部議員は、会染保育園の移転問題の追求。何年たっても解決しないこの問題の苦肉の策が、会染児童センターを増改築して使用するというものです。

県道に面し危険度が高く、園庭も狭くあり得ない場所です。子どもたちの現状、未来を真剣に考えないこの姿勢こそが、行政の怠慢だと思えます。

しかし、今回は保護者や保育士たちの意見をふまえ、町長、教育長はやつと「方針を見直し再検討する」と、答弁しました。

また「学校法人日本国際アルプス学院」の問題も質問。学園には多額の町費が投入されているとのことですが、

契約について「曖昧さ」があると感じました。

町の答弁は生ぬるく真剣さ

菅首相 支持率急落でも 五輪強行開催にまっしぐら！

菅首相の支持率が急落しています。コロナ対策とオリンピック開催に国民が不信をいだいているからではないでしょうか。

五輪強行開催に突っ走る政権中枢の意図はなんでしょう。ある新聞の世論調査では五輪の中止・延期が8割を超えているのに、以前から言っている「五輪をコロナに打ち勝った証としたい」をまだ言い続けていくつもりなのでしょう。

競技場の医務室に看護職を500人派遣させたいといっていました。が、コロナ治療、ワクチン接種と3重の負担の状況下のなか、選手や大会関係者の命が守られるのか何の保障もありません。

観客数の制限といつても人は街に必ず出ます。大会期

が感じられず、もっと内容を知りたいと思いました。

傍聴者 70代女性

介護施設の食費補助の見直し 対象者27万人 影響100億円

間中の医療のキャパシティが本当に耐えられるのか疑問だらけです。五輪が感染拡大のきっかけになり得ると言う専門

8月に予定されている介護の利用者負担増をめぐり、厚生労働省は5月12日、介護施設に入所する低所得者への食費等の補助（補足給付）の見直し対象者が約27万人で、影響額は約100億円に上ることを明らかにしました。



参院予算委員会で日本共産

家もあります。

全国の高齢者のワクチン7月末完了は無理でしょうし、新たな変異株も発生しています。日本のワクチン開発は規模が小さく臨床試験が国内に限られており開発には時間を要するとも聞きます。

この様な状況下での五輪開催には疑問を感じている1人です。（3丁目薄井百子）

党の倉林明子議員に答弁しました。

「補足給付」とは、低所得の高齢者を対象に、高齢者施設の食費や居住費の補助を行う制度で、高齢者施設に入居しており、住民税が非課税となる人が対象となります。

適用されると入所できない人たちが増え、家族の負担も増大します。

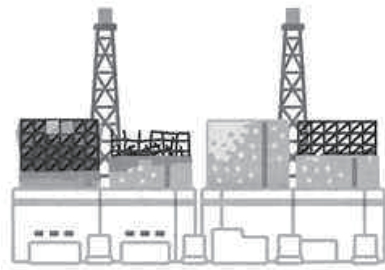
毎年のように介護保険制度が改悪されており、安心できる「介護保険制度」とはほど遠い実態です。

政府 原発汚染水放出方針決定 漁業者との約束は反故に！

政府は4月13日、関係閣僚会議を開き福島第一原発の汚染水（アルプス処理水）の海洋放出方針を決定しました。

今回の決定は、政府と東電が海洋放出に強く反対する漁業関係者に「関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」と約束したことを覆し、強引に突き進みました。

原発事故で壊滅的な被害を受けた福島県沖の漁業は試験操業を3月に終え、本格操業への移行期間に入ったばかり。処理水放出で新たな風評被害がでる可能性が大きく、十年間の努力が水泡に帰して再起



福島第一原発

不能におちいる恐れがあります。

政府はトリチウムの放射線を軽微なものとしています。が、体内に取り込まれて内部被爆となると直接細胞が攻撃されるので無視できません。

第一回行財政改革推進委員会 開催される

池田町の財政が危機的状況に陥ったことから、昨年11月と今年2月に財政状況の町民説明会が行われ「池田町の財政難を招いた責任と今後の方針」が提起されました。

町民から様々な意見が出され、また財政状況改善に向けたパブリックコメント（117件集約）などから、町は「行財政改革推進委員会」を設置しました。

五月28日第一回委員会が開催され、公募による町民三名・町議会議員・識見を有

更にアルプス処理水にはトリチウムだけでなく他の放射性元素も残存していることが判明しており、汚染水が海洋放出されるとなれば、農林水産業をはじめ地域への大打撃となる事は明らかです。海洋放出に固執せず、タンク増設などの対策をとり、問題解決に英知を結集すべきです。

渋田見 太田勅

開催される

する者・各種団体が推薦する者など10名が委員となりました。会長には信州大学経済学部長の山沖義和氏、副会長に女性団体連絡協議会の丸山史子氏が選出されました。

委員の任期は2年間であり、月1回の会議日程と審議内容をすべて決めてあるなど、手際の良さが目立ちました。

主な発言は「問題点がどこか分からない、資料に基づいて分析・検討しなければならぬ」「2年間かけてやるこ

とではない、集中して討議すべき」「月1回は間延びしている、せめて2カ月に3回としてはどうか」「委員の共通認識が必要」などでした。

公募委員の村端氏から「審議にあたっての意見」の文書発言が配布されました。今回は6月24日（木）13時30分から開催されます。

中島 牛越邦夫

五輪・パラの政権利用をやめて！

政権維持のためには何でも宣伝材料にして来た安倍政権。天皇陛下の退位、即位、新元号、新札の発表、そしてオリンピック、パラリンピックの招致。7月は猛暑なのに「温暖」と偽り、廃炉作業に課題山積みにもかかわらず「アンダーコントロール」と表現し、復興五輪を謳う。招致は成功し順調に事が進むかに見えた。

ところが、超強烈ウイルスが襲来。為すすべなく「開催を1年程度延期したい」と発表。あの日から総力戦でウイルスを封じ込めないといけな

医療費2倍は困ります

75歳以上の医療費窓口負担に2割負担を導入する「高齢者医療費2倍化法案」が5月7日の衆院厚生労働委員会で行採決され、自民・公明・維新など各党の賛成多数で可決されました。

今も何力所かの医療機関に通院、医療費負担が大変なのに、どこを削ればいいのか考えてしまします。

「若い世代との不平等を正す」と言いますが、国民皆が幸せになるようにして欲しいです。 3丁目 山本久子